



〔 広島県感染症・疾病管理センターホームページ
「麻しん（はしか）」の感染予防について 〕

資料提供	
令和8年4月30日	
課名	健康危機管理課 (感染症・疾病管理センター)
担当者	東久保
電話(直通)	082-513-3068
(内線)	3068

広島県感染症発生動向月報

〔 広島県感染症予防研究調査会 〕
〔 令和8年4月解析分 〕

1 今月のトピックス

(1) 麻しん（はしか）患者の報告が増加しています

麻しん（はしか）は感染力が非常に強く、先進国でも1,000人に1人が死亡すると言われる注意が必要な感染症です。

令和8年1月からの国内での発生報告数は、3月29日までで197例であり、令和2年以降最多となっています。県内での発生状況ですが、令和7年に3例、令和8年は第16週（4月13日～19日）までに1例報告されています。

令和5年以降の国内発生は、海外輸入例を発端とした二次感染例が中心ですが、国内の航空機や新幹線などの公共交通機関内での感染が確認された症例もあり、令和8年ではそのような国内感染例の増加が認められています。

🔍 麻しん 広島県 🔍 検索



写真2 麻しんの写真
(撮影：馬場宏一氏)
(出典) 『学校における麻しん対策ガイドライン』
平成20年3月国立感染症研究所作成

【 潜伏期間 】 通常10～12日（7日～21日）

【 臨床症状 】 特徴的な発疹、発熱、カタル症状（咳、鼻汁、結膜充血）

【 感染経路 】 空気感染、飛沫感染、接触感染 ※基本再生産数（ R_0 ）は12-18（インフルエンザ2-3）

【 治療・予防 】 特異的治療法はない。予防にはワクチンが有効

【 感染力のある期間 】 発病1日前～解熱後3日

【 学校保健安全法 】 解熱した後3日を経過するまで出席停止

【 合併症等 】 ・2大死因は肺炎と脳炎。

- ・患者1,000人に1人の割合で脳炎を発症し、死亡する割合は先進国であっても1,000人に1人と言われる。
- ・麻しんに罹患後7-10年を経て亜急性硬化性全脳炎（SSPE）を発症することがあり、発症者の大半は知能障害、運動機能障害が進行した後数年以内に死亡。

(2) 麻しん（はしか）の予防にはワクチン接種が有効です

麻しん（はしか）は、空気感染や接触感染でうつる非常に感染力の強い感染症で、手洗い、マスクのみでは予防できません。有効な予防方法はワクチン接種です。

30代後半から40代を中心とした世代は定期接種としての接種機会が1回のみであり、また、10代20代など2回の定期接種対象者であっても接種未完了者が一定数存在すると言われています。そのため、母子健康手帳等の記録に基づく2回の麻しん含有ワクチン接種歴が明らかでなく、特に海外渡航を計画している場合は、渡航外来において麻しん含有ワクチンの接種を検討することが重要です。

なお直近では、以前、ワクチンの偏在等でやむを得ず定期接種が受けられなかった方がいる地域においても、定期接種が受けやすくなっています。

麻しんの予防接種について

麻しんの予防接種は
「定期接種」もしくは「任意接種」として
接種することができます

【定期接種（ていきせっしゅ）】

接種費用：無料（公費負担）



対象の方

- ・ 1期→生後12月～生後24月
- ・ 2期→5歳以上7歳未満の者で、小学校に就学する前の1年間（4/1～3/31）の間にある者

接種の申込方法

- ・ お住いの市町のホームページ等をご確認の上、医療機関へお問い合わせください。

【任意接種（にんいせっしゅ）】

接種費用：全額自己負担



対象の方：定期接種の対象ではない方

接種の申込方法

- ・ かかりつけやお住まいの地域の医療機関へ直接お問い合わせください。

※ **接種歴がない場合**や**海外渡航を予定されている場合**は、医師等と御相談の上、接種をご検討ください。

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

令和8年3月分(令和8年3月2日~令和8年4月5日:5週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	急性呼吸器感染症(ARI) ※2	21,396	46.11	-	↘	11	突発性発しん	45	0.16	0.22	↗
2	インフルエンザ ※3	4,186	9.02	4.90	↓	12	ヘルパンギーナ	7	0.03	0.03	
3	新型コロナウイルス感染症(covid-19) ※1	241	0.52	-	↘	13	流行性耳下腺炎	11	0.04	0.02	↑
4	RSウイルス感染症	108	0.39	0.55	↘	14	急性出血性結膜炎	1	0.01	0.01	
5	咽頭結膜熱	83	0.30	0.37	→	15	流行性角結膜炎	44	0.46	0.54	↘
6	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	663	2.38	1.18	→	16	細菌性髄膜炎	1	0.01	0.01	
7	感染性胃腸炎	1,737	6.23	6.47	↘	17	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
8	水痘	51	0.18	0.09	↘	18	マイコプラズマ肺炎	25	0.25	0.08	↘
9	手足口病	8	0.03	0.10		19	クラミジア肺炎 ※4	0	0.00	0.00	
10	伝染性紅斑	18	0.06	0.04	↘	20	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	5	0.05	0.10	

※1 R5年第19週(5/8~)から五類に変更。※2 咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、医師が感染症を疑う外来症例に該当する患者数を計上(他の定点把握疾患として報告されている患者数(No.2~6及び12)を含む) ※3 鳥インフルエンザを除く ※4 オウム病を除く

令和8年3月分(3月1日~3月31日)

(2) 定点把握(月報)五類感染症

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
21	性器クラミジア感染症	88	4.00	3.06	↗	25	メチリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	57	2.85	3.31	↘
22	性器ヘルペスウイルス感染症	18	0.82	1.06	↘	26	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	2	0.10	0.09	
23	尖圭コンジローマ	15	0.68	0.60	→	27	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0.00	0.03	
24	淋菌感染症	27	1.23	1.19	↗	※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり) ※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。					

急増減疾患!! (定点当たり前月比2倍以上増減)

○急増疾患 流行性耳下腺炎 (0.00 → 0.04)

○急減疾患 インフルエンザ (25.39 → 9.02)

発生記号(前月と比較)

急増減	↗	↘	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5~2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象20疾患、月報対象7疾患)について、県内153の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1, 2, 3	1~13	14, 15	21~24	16~20, 25~27	
定点数	37	55	19	22	20	153

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類等感染症発生状況

【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	31	結核(31)[西部保健所(3)、西部東保健所(1)、東部保健所(3)、北部保健所(1)、広島市保健所(13)、呉市保健所(1)、福山市保健所(9)]
三類	5	腸管出血性大腸菌感染症(5)[西部保健所(1)、広島市保健所(2)、福山市保健所(2)]
四類	6	E型肝炎(1)[西部東保健所(1)] レジオネラ症(5)[西部保健所(1)、広島市保健所(3)、福山市保健所(1)]
五類	43	アメーバ赤痢(1)[広島市保健所(1)] ウイルス性肝炎(1)[広島市保健所(1)] カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(3)[西部保健所(2)、東部保健所(1)] 急性脳炎(2)[広島市保健所(2)] 劇症型溶血性レンサ球菌感染症(2)[呉市保健所(1)、福山市保健所(1)] 侵襲性肺炎球菌感染症(7)[東部保健所(1)、広島市保健所(4)、呉市保健所(1)、福山市保健所(1)] 梅毒(18)[西部東保健所(1)、東部保健所(1)、広島市保健所(10)、福山市保健所(6)] 百日咳(9)[広島市保健所(3)、福山市保健所(6)]

一類・二類・三類・四類・五類(全数把握対象)感染症発生状況 (広島県)

2026年3月31日 現在

分類	感染症名	発 生 件 数												
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
二類	結核	25	41	31										97
	小 計	25	41	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	97
三類	コレラ	0	0	0										0
	細菌性赤痢	0	0	0										0
	腸管出血性大腸菌感染症	17	6	5										28
	腸チフス	0	0	0										0
	パラチフス	0	0	0										0
	小 計	17	6	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28
四類	E型肝炎	1	0	1										2
	A型肝炎	1	0	0										1
	エムボックス	0	0	0										0
	つつが虫病	0	0	0										0
	デング熱	0	0	0										0
	重症熱性血小板減少症候群	0	0	0										0
	日本紅斑熱	0	0	0										0
	日本脳炎	0	0	0										0
	マラリア	0	0	0										0
	レジオネラ症	6	1	5										12
	レプトスピラ症	0	0	0										0
小 計	8	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	
五類全数	アメーバ赤痢	1	2	1										4
	ウイルス性肝炎(A型及びE型を除く)	0	0	1										1
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	0	7	3										10
	急性弛緩性麻痺	0	0	0										0
	急性脳炎	0	2	2										4
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0										0
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	2	2										7
	後天性免疫不全症候群	1	0	0										1
	ジアルジア症	0	0	0										0
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0										0
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0										0
	侵襲性肺炎球菌感染症	3	4	7										14
	水痘(入院例)	0	0	0										0
	破傷風	2	1	0										3
	梅毒	10	12	18										40
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0										0
	百日咳	23	19	9										51
	風しん	0	0	0										0
	播種性クリプトコックス症	0	0	0										0
	麻しん	1	0	0										1
小 計	44	49	43	0	0	0	0	0	0	0	0	0	136	
合 計		94	97	85	0	0	0	0	0	0	0	0	0	276

※ 一類～三類感染症は、疑似症患者及び無症状病原体保有者を含む。

【類別感染症名】

一類 :	エボラ出血熱, クリミア・コンゴ出血熱, 痘そう, 南米出血熱, ペスト, マールブルグ病, ラッサ熱
二類 :	急性灰白髄炎(ポリオ), 結核, ジフテリア, 重症急性呼吸器症候群, 中東呼吸器症候群, 鳥インフルエンザ(H5N1), 鳥インフルエンザ(H7N9)
三類 :	コレラ, 細菌性赤痢, 腸管出血性大腸菌感染症, 腸チフス, パラチフス
四類 :	E型肝炎, ウエストナイル熱, A型肝炎, エキノコックス症, 黄熱, オウム病, オムスク出血熱, 回帰熱, キャサナル森林病, Q熱, 狂犬病, コクシジオイデス症, エムボックス(サル痘), ジカウイルス感染症, 重症熱性血小板減少症候群, 腎症候性出血熱, 西部ウマ脳炎, ダニ媒介脳炎, 炭疽, チクングニア熱, つつが虫病, デング熱, 東部ウマ脳炎, 鳥インフルエンザ(鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9)を除く), ニバウイルス感染症, 日本紅斑熱, 日本脳炎, ハンタウイルス肺症候群, Bウイルス病, 鼻疽, ブルセラ症, ベネズエラウマ脳炎, ヘンドラウイルス感染症, 発しんチフス, ボツリヌス症, マラリア, 野兎病, ライム病, リッサウイルス感染症, リフトバレー熱, 類鼻疽, レジオネラ症, レプトスピラ症, ロッキー山紅斑熱
五類全数:	アメーバ赤痢, ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く), カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症, 急性脳炎, クリプトスポリジウム症, クロイツフェルト・ヤコブ病, 劇症型溶血性レンサ球菌感染症, 後天性免疫不全症候群, ジアルジア症, 侵襲性インフルエンザ菌感染症, 侵襲性髄膜炎菌感染症, 侵襲性肺炎球菌感染症, 水痘(入院例に限る), 先天性風しん症候群, 梅毒, 播種性クリプトコックス症, 破傷風, バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症, バンコマイシン耐性腸球菌感染症, 風しん, 麻しん, 薬剤耐性アシネトバクター感染症, 百日咳, 急性弛緩性麻痺

病原体（ウイルス）検出状況（県立総合技術研究所保健環境センター検査分）

検体採取期間：令和8年3月1日～4月20日

資料作成：令和8年4月21日

県立総合技術研究所 保健環境センター 保健研究部

1 県内医療機関からの受付検体数

患者数	検体数	陽性検体数	陰性検体数	検査中
171	186	114	61	11

2 四類感染症からの検出状況

診断名	分離・検出ウイルス名	患者数	検体数	検体種類	検体採取年月	年齢	発生地区(保健所)
E型肝炎	E型肝炎ウイルス Genotype 3	2 [*]	3	血清	R8. 3月～4月	40代	西部東
ダニ類媒介感染症疑い	日本紅斑熱リケッチア	1	1	血液	R8. 4月	80代	呉市

※ いずれも感染経路不明

3 五類感染症 急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスの検出状況(別紙)

4 五類感染症からの検出状況(急性呼吸器感染症(ARI)として提出された検体の中に含まれていた患者の検査結果の再掲を含む)

診断名	分離・検出ウイルス名	患者数	検体数	検体種類	検体採取年月	年齢	発生地区(保健所)
急性脳炎	サイトメガロウイルス	1	1	咽頭	R8. 3月	0	東部
新型コロナウイルス感染症	新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)	8	8	鼻咽頭, 咽頭	R8. 3月～4月	6～66	西部(広島), 西部東, 東部, 東部(福山)
インフルエンザ	AH1pdm型インフルエンザウイルス	1	1	鼻咽頭	R8. 3月	91	東部(福山)
	AH3型インフルエンザウイルス	1	1	咽頭	R8. 3月	18	東部
	B型(ビクトリア系統)インフルエンザウイルス	25	25	鼻咽頭, 咽頭	R8. 3月～4月	2～39	西部(広島), 西部東, 東部, 東部(福山)
	B型(ビクトリア系統)インフルエンザウイルス +ライノウイルス	2	2	鼻咽頭	R8. 3月	2, 43	東部(福山)
	B型(ビクトリア系統)インフルエンザウイルス +RSウイルス A型	1	1	鼻咽頭	R8. 3月	16	西部東
	B型(ビクトリア系統)インフルエンザウイルス +パラインフルエンザウイルス3型	1	1	鼻咽頭	R8. 3月	5	西部東
	B型(ビクトリア系統)インフルエンザウイルス +ライノウイルス+パラインフルエンザウイルス4型	1	1	鼻咽頭	R8. 3月	7	西部東
RSウイルス感染症	B型(ビクトリア系統)インフルエンザウイルス +アデノウイルスNT	1	1	鼻咽頭	R8. 3月	5	西部東
	RSウイルス A型	1	1	鼻咽頭	R8. 3月	2	西部東
	RSウイルス A型 +B型(ビクトリア系統)インフルエンザウイルス	1	1	鼻咽頭	R8. 3月	4	西部東
	RSウイルス A型+ヒトコロナウイルスNL63	1	1	鼻咽頭	R8. 3月	0	西部東
咽頭結膜熱	RSウイルス B型+ライノウイルス	1	1	鼻咽頭	R8. 3月	0	西部東
	アデノウイルスNT	1	1	鼻咽頭	R8. 3月	2	西部東
感染性胃腸炎	アデノウイルスNT+ライノ/エンテロウイルス(鑑別予定)	1	1	鼻咽頭	R8. 4月	0	西部東
	ノロウイルスG II. 4 Sydney [P16]	2	2	便	R8. 3月	0, 2	西部東
無菌性髄膜炎	ヒトヘルペスウイルス7型	1	1	咽頭	R8. 3月	8	東部

◆年間を通じた県内のウイルス検出情報（ひろしまCDCホームページ内 月別・疾患別ウイルス検出情報）

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/hidsc-virus-kensyutsu.html>

◆広島県内の急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスの流行状況（ひろしまCDCホームページ内）

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/ari.html>

6 保健所別検査依頼受付状況（検体採取期間：令和8年3月1日～4月20日）

保健所地区	検体数	疾患名（検体数）
西部	0	
西部(広島)	31	急性呼吸器感染症(ARI) (31)
西部(呉)	0	
西部東	64	E型肝炎(4), 麻疹(小児)疑い(3), 風しん(小児)疑い(3), 急性呼吸器感染症(ARI) (51), 咽頭結膜熱(1), 感染性胃腸炎(2)
東部	55	ダニ類媒介感染症疑い(5), 急性脳炎・脳症(4), 急性呼吸器感染症(ARI) (38), 新型コロナウイルス感染症(4), インフルエンザ(1), 無菌性髄膜炎(3)
東部(福山)	28	急性呼吸器感染症(ARI) (28)
北部	0	
福山市	1	ダニ類媒介感染症疑い(1)
呉市	7	ダニ類媒介感染症疑い(2), デング熱疑い(2), 麻疹(小児)疑い(3)

急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスで検出されたウイルス（令和8年3月上旬～令和8年4月中旬）

	報告週	第10週	第11週	第12週	第13週	第14週	第15週	第16週	計
		3/2～3/8	3/9～3/15	3/16～3/22	3/23～3/29	3/30～4/5	4/6～4/12	4/13～4/16	
検査患者数		21	24	23	21	16	19	16	140
陽性患者数		12	20	17	17	12	15	9	102
AH1pdm09型インフルエンザウイルス						1			1
AH3型インフルエンザウイルス									0
B型インフルエンザウイルス(ヒ7外7系統)		5	11	9	4	3	4	2	38
新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)		1		1	1		1	3	7
RSウイルス A型				3	3		1		7
RSウイルス B型		1	2		1	1			5
パラインフルエンザウイルス1型									0
パラインフルエンザウイルス2型				1					1
パラインフルエンザウイルス3型		1							1
パラインフルエンザウイルス4型				2					2
ライノウイルス/エンテロウイルス							3	1	4
ライノウイルス		5	10	5	5	3	4		32
エンテロウイルスNT						1			1
メタニューモウイルス						3	1	1	5
アデノウイルスNT			1	2	1	3	2		9
ヒトコロナウイルスHKU1									0
ヒトコロナウイルスNL63			1	1	2		2		6
ヒトコロナウイルス229E			1		2		1	2	6
ヒトコロナウイルスOC43		1	2						3
マイコプラズマ・ニューモニエ							1	1	2

※ 1人の患者から複数のウイルスが検出された症例が複数あります。